

もいのにぎわい通信

2010年5月22日 定例活動報告

日時：2010年5月25日（土）8：30～15：00 （一般9：30～15：00）

場所：小山町 観音地

天候：晴れ 気温 18～27℃ 湿度40% 風向風速 東 5m

参加者：参加者 98人：子供20人、大78人（来賓13人、観察指導員2人含む）

活動記録

- 8:30 スタッフ集合 本日のスケジュール打合せ
植樹祭の準備、現地案内(副市長及び市関係者)
- 9:10 受付開始
- 9:40 千の苗・植林プロジェクト開会
主催者挨拶、副市長挨拶、グリーンウェイブ主旨説明
- 9:59～10:00 カウントダウン後、主催者、来賓、子供にて植樹された苗木に水遣り。
- 10:10 来賓挨拶
- 10:25 苗木の植え方・コナラ・コヌギの樹種説明
- 10:40 3グループに分かれ、植樹開始
- 11:20 休憩
- 11:30 植樹再開
- 12:00 集合写真
- 12:10 昼食・懇談会(里山の森復元に向けて)
- 13:30～14:30 自然観察会
- 14:30 お楽しみ抽選会
- 15:00 解散

活動報告

本日は、事前の準備のかがいがあり、植樹祭日和となりました。

8：30：スタッフが集合し、本日のスケジュールを確認、各自植樹祭の準備に取り掛かりました。

9：10：来賓の徳永千葉市副市長他市関係者を現地に案内する。

表土が完全に削られた山砂採取跡地にも関わらず、約2年半でこれだけの緑が回復したことに關心されていました。また、付け替え赤道の崩落箇所を見て頂き、再度崩落箇所の補修を要望しました。

9：40～10：10：主催者の小高千葉市板倉大椎土地改良区理事長の挨拶、徳永千葉市副市長の来賓挨拶、引き続き、森千葉県生物多様性戦略室長より、グリーンウェイブの趣旨説明がありました。

グリーンウェイブ運動は、国連の指定している国際生物多様性の日である5月22日に世界中で木を植えようという運動です。世界各地で現地時間午前10時に植樹などを行なうことにより、この行動が地球上を東から西へ緑の波が広がっていく様子を緑の波（グリーンウェイブ）と呼びます。

手順は、国連及び環境省に登録し、植えた苗木に5月22日（土）の午前10時に水やりします。今

回の取組に向け、土気南小学校、あすみが丘小学校、大椎小学校、森を守り育てる会もりもり遊び隊、緑の環協議会が環境省に登録しています。国連には、千葉県では、当会のみ登録しています。来賓の千葉市副市長、川本県議会議員、福谷市議会議員、千葉県関係者、千葉市関係者、土気南小学校教頭先生、団体関係者、そして子どもたちもいっしょにカウントダウンしてクヌギの苗木10本に水やりしました。



10:10～12:10:川本県議会議員、福谷市議会議員をはじめとする来賓の方々の挨拶の後、千葉農林振興センターの恵普及指導員からコナラ・クヌギの樹種の説明及び苗木の植え方について指導を受け、三つのグループに分かれてコナラとクヌギの苗木を植栽しました。参加者は、地盤の固さに戸惑いながらも目印の支柱の横に穴を掘り、堆肥を入れて、植えて行きました。植えた後は、主催者の用意した植樹ネームプレートに各自自由に植樹日・名前等を書き、記念に苗木に付けていました。休憩時、差し入れされた桜餅を食べながら、石井市議会議員の挨拶、恵普及指導員から教育の森制度についての説明がありました。

休憩後、第一グループは、小学校で育てられたドングリからの苗木650ポットを育苗畑に植え付けました。第2グループ、第3グループは、引き続き、汗をかきながら植樹の穴掘りに格闘していました。終了後、育苗畑をバックに参加者全員で記念写真を撮りました。



12:10～13:20:忙しい中駆けつけて頂いた三須市会議員の挨拶の後、昼食をとりながら里山シンポジウム分科会「里山の森の復元について」の懇談会を行いました。

1. 里山の森の復元に向けて（緑の環・協議会 星野正人）

2008年3月、主要20か国・地域首脳会合（G20）のプレ企画として植樹祭を開催し、152名が参加しました。そして、17種類600本の苗木を植えることができました。この植樹祭を契機に苗木を育てるため、緑の環・協議会、土地改良区、近隣団地の皆さんが集まり、森を守り育てる会が発足しました。それ以後、毎月1回の定例活動を実施してきました。

2008年9月から生物多様性モデル事業に指定され、活動助成を受けることができました。2009年4月から森もり遊び隊というあすみが丘地域の親子が自然の中で遊ぶ活動が始まりました。同年4月、土砂採取跡地の斜面部分が谷津田保全地区に指定されました。翌2010年4月、削り採られた平坦地も続けて指定を受けました。また、2009年11月、千葉県教育の森に指定されました。

昨秋、今回の植樹祭に向けてドングリ拾いを行い、地元三小学校にコナラ・クヌギのドングリを配布して里親になってもらうとともに、11月の活動日に77名で350ポットにドングリの種まきしました。

現在、マツ、スギ、コナラ、クヌギ、シラカシ、ヤマザクラなど1800本の植樹が行われてきました。今回、1000本植樹する予定でおります。このような形で2年余りで多くの人々とともに多様な森づくりをスタートすることができました。

2. 生物多様性について（千葉県自然保護課 生物多様性戦略室長 森 雅邦様）

今年が生物多様性年で、秋に名古屋で国際会議が開催されます。生物多様性とは、簡単に言えば自然そのものであり、生態系が豊かか貧しいかということになります。

生物の多様性が衰退する原因として、①開発（宅地化、工場化等も）、②里山の手入れ不足、③外来種の侵入、④温暖化（サンゴの白化等）があげられています。このことから、開発された場所に木を植えることは、生物の多様性を取り戻すために有意義なことであり、モデル事業の対象となりました。

3. 千葉市の水環境について（千葉市環境保全推進課 長谷川和男様）

まず、千葉市の水環境について説明いたします。千葉市では、水の循環を保とうとしており、公共水系の浄化と増量を図ろうとしております。そして、水環境を整備する中で森林を残そうとしております。これからも活動を支援していきたいと思っております。

4. 谷津田保全協定地区について（千葉市環境保全推進課 吉野 宏様）

谷津田保全協定地区について説明いたします。谷津とは、6000年位前海だったところが2000年位

前に隆起した時に陸地になった部分です。そのうち、田んぼの部分を指して谷津田と称しています。生物がこの谷津に豊富に生息していると考え、保全しようとしています。市内 25 か所を重要な谷津田に指定し、昭和の森から続く小山町の谷津田もそのひとつとなっています。この活動地はちょうど谷津部分に当たり、平成 22 年 4 月に谷津田に続いて協定を結び、一体的な管理をお願いすることとします。

5. 里山地区について（千葉市農政センター 小倉文夫様）

千葉市の森林は、千葉市の面積 27 万 ha のうちの 5100ha（18%）で、4500ha が調整区域になっています。公益機能として環境への貢献をお金に換算すると、千葉市の森林だけでも 100 億円を生み出していることとなります。しかし、生活が便利になり、里山が私たちの日常生活から離れ、荒れてしまいました。

千葉市では、平成 13 年から里山地区ということで 2～3 ha の森を指定し、所有者と地域住民とがいっしょになって管理している場所が 3 か所あります。若葉区富田町の「泉の森」、若葉区小倉町の「小倉の森」、そして緑区平川町の「平川の森」です。そこでは、研修を受けた森林ボランティアの人が積極的に活動しています。

6. JRA 助成事業について（緑の環・協議会 石谷栄次）

国土緑化推進機構の助成事業のひとつに、財団法人全国競馬・畜産振興会（JRA）が助成する「家畜たい肥を利用した緑化活動の支援事業」があり、千葉県緑化推進委員会を通して受託することができました。受託の条件として①家畜たい肥を購入して利用する、②普及啓発資料を作成する、③苗木を購入して植栽する、④横断幕を持って写真撮影し、報告書を作成する、がありました。この条件を達成し、コナラ苗木 400 本、アカマツ苗木 200 本を植栽しました。

7. 意見交換

・準備の時から参加しました。穴掘りしましたが、良い経験になりました。また、参加したいと思います。

・初めて参加しました。苗木を植栽した経験がなかったので、良い経験になりました。

・2年前、初めて植栽した時に参加しました。前は産廃処分場中止が決まった少し後なので、厳しい雰囲気でしたが、今回、子どもたちがのびのびと遊ぶ姿を見て、少しずつの積み重ねが大切と感じました。

13：20～14：30：懇談会の後、子どもたちは自然観察指導員とともに谷津田に自然観察に出かけました。残った参加者で、斜面を中心に残りの苗木をすべて植え終えました。

予定通り苗木をすべて植え終えたのは、造園のプロである日本建装さんの社員の方のご協力があったからであり、感謝しています。

その後、差し入れされた初物スイカに舌鼓を打ちました。

14：30～15：00：自然観察会のグループが戻ってから、お楽しみ抽選会を行いました。

もりもり遊び隊のお母さんがつくってくれたハブのおもちゃ、地元のブルーベリー、お米、東急ゴルフクラブ提供の諸見里しのぶプロのサイン入帽子等たくさんの景品が出ました。

今回の植樹祭の主旨に賛同され、景品等を提供して頂いた方々に御礼申し上げます。

最後に石谷緑の環・協議会理事長代行の挨拶で閉会となりました。

後記

本日は、地元小学校の運動会と重なり、参加者が集まらないのではと不安でしたが、晴天にも恵まれ、多くの来賓の方々を含め、98名の参加を頂き、一致団結して約400本の苗木の植栽と地元3学校に育ててもらった650ポットの苗を植えました。時差を利用すると地球規模のウェーブになるという発想に感心しながら、小山町観音地でも多くの苗木を植栽でき、同時に楽しい思い出となりました。植えた苗の10年後の姿が楽しみです。(記録 石谷栄次、星野正人)

★ お知らせ ホームページもご覧下さい→ <http://www.g-cycle.org/>

次回の定例活動は、6月26日(土)雨天の場合は、27日(日)に行ないます。

敷地内の除草作業、木のネームプレート作成を予定しています。



